

京都 CSR 推進協議会 2013 年度事業報告

(2013 年 4 月 1 日～2014 年 3 月 31 日)

基本総括

2013 年度は、支援事業の充実の前提ともなるメンバー会員の拡大を目指して取り組むとともに、支援事業の充実にも積極的に取り組み、それを会員拡大につなげていくとして事業に取り組んだ。支援事業として、ウェブサイトの運用を継続し、取り組みレポートを軸に既存会員の支援に取り組むとともに、CSR 取り組みセミナーとしての「CSR 創発塾」を外部講師も招いて 5 回開催し、一定の成果のあるものとなった。またオープンセミナーも 2 回開催し、会員外の企業などからも多くの参加を得た。

一方、こうした取り組みはメンバー会員拡大に直接つながらず、会員拡大については目標を大きく下回る結果となり、今後課題を残した。

また、協議会発足後 3 年を前に、組織面や財務面の基本的な課題について協議するための基本問題プロジェクトチームを企画運営委員会内に設置し、5 回にわたり検討会議を行った。

1 支援事業

(1) ウェブサイト等の運用と機能充実

会員サービス充実の一環として、CSR 京都ウェブサイトを活用するとともに、メールニュース【CSR 京都 Newsletter】の配信などによる情報提供を継続して行った。

また、昨年度構築した各取り組みレポートの進捗を過去に遡って時系列で見ることのできる仕組みを、各会員企業のレポート更新時に運用した。

(2) セミナー等の開催

CSR 取り組みセミナー「CSR 創発塾」を計 5 回開催し（4/17：「外部資源の活用で CSR の取り組みの幅を広げる～取り組みの気づきヒント～」、6/20：「リヴァックスグループによる経営戦略としての CSR の取り組み」、8/27：「従業員の CSR を考える～最近の労働問題で気をつけておくべきポイント」、10/21：「防災と CSR—緊急事態の中で事業を継続するために」、1/21：オムロン京都太陽株式会社工場見学）、レクチャーに加えて懇談会の時間を多くとり、会員同士が交流して情報交換や経験交流のできる機会となるよう工夫した。

また、参加者を会員に限定しないオープンセミナーを 2 回実施した（7/2：「ワークショップ：これが我が社の CSR」〔26 名参加〕、10/28：「フェアな取引、できてますか～下請取引における公正なルールとは～」〔71 名参加〕）。

(3) CSR 取り組みレポートの作成・公開支援

入会オリエンテーションにおいて、レポート内容の「信頼性」と「分かりやすさ」の観点からレポート作成の全般的なサポートを行った。また、レポートをウェブサイトへアップする過程で個別企業とやり取りを行うなど具体的な支援を行った。

2 会員拡大事業

(1) 個別企業訪問

必要に応じて個別に企業を訪問し、メンバー会員及び賛助会員の拡大につなげた。

(2) CSR なんでも相談室

CSR に関する相談に応じる「CSR なんでも相談室」を、年間を通じて月 2 回のペースで実施し、のべ 23 名の相談者があった（実施日：4/10・26、5/17・29、6/14・25、7/10・29、8/5・21、9/11・25、10/7・22、11/6・25、12/2・17、1/15・24、2/5・21、3/5・17）。

3 広報事業

(1) リーフレット・パンフレットの作成と配布

前年度に作成した、具体的事例や写真、参加するメリットなどを含めた訴求力の高いパンフレットを組織変更に伴って改訂し、活用した。

(2) メディアを活用した広報の実施

報道機関に情報を提供し、オープンセミナー「フェアな取引、できてますか～下請取引における公正なルールとは～」が新聞報道された。

4 協議会の運営

(1) 総会の開催

2013年6月12日に総会を開催した。

(2) 理事会の開催

2013年6月12日に理事会を開催した。

(3) 企画運営委員会の開催

以下のとおり開催した。

第1回企画運営委員会 (4/17)

第2回企画運営委員会 (5/23)

第3回企画運営委員会 (7/31)

第4回企画運営委員会 (10/7)

第5回企画運営委員会 (12/17)

第6回企画運営委員会 (2/18)

(4) 企画運営委員会基本問題プロジェクトチーム会議の開催

以下のとおり開催した。

第1回会議 (9/4)

第2回会議 (10/2)

第3回会議 (10/30)

第4回会議 (12/4)

第5回会議 (1/30)

(第6回会議 (4/2))

以上